

株式会社 山一 環境行動計画

取組方針

株式会社 山一は、「無理、無駄、ムラをなくそう」をスローガンとして、土木工事、給排水設備工事を行っています。

当社の事業活動を進めていく中で、いかに地球環境に配慮しながら、地域の環境を整えていくかが、重要課題となっています。「エネルギーは、あるから使うのではなく、使わないようにするにはどうするか」を考え、これからの事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動における、二酸化炭素排出量の削減
- ② 事務、施工業務における、廃棄物排出量の削減及びリサイクル率の向上
- ③ 資源の有効利用の推進
- ④ 無理・無駄・ムラの3Mの徹底

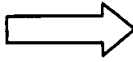
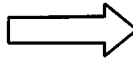
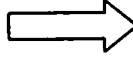
この方針に基づいて社員一人ひとりが環境保全に対する意識を持ち、環境に配慮した行動ができる様に、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成25年 5月31日

株式会社 山一
代表取締役 山下 英夫

3. 環境負荷の低減目標及び具体的な取組

当社にて実施する、事業活動に伴う環境負荷を低減するための、取組目標及び具体的な取組内容は次の通りです。基準年度は、平成24年度です。

| | | | | | | | | | |
|---------------|--|----------|----------|----------|------------|----------|----------|----------|------------|
| <p>目標—1</p> | <p>二酸化炭素の総排出量を3%削減する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>平成24年度 9,995 (kg-CO₂)</p> </div> <div style="margin: 0 20px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>平成26年度の目標 9,695 (kg-CO₂)</p> </div> </div> | | | | | | | | |
| <p>具体的な取組</p> | <p>(事務所での取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①冷房温度(28度)と暖房温度(20度)を厳守する。 ②エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する。 ③昼休みや晴天時の消灯、パソコン、コピー機の電源OFFを徹底する。 ④休日前には、パソコン、コピー機のコンセントを抜く。 ⑤冬季には、冷蔵庫のコンセントを抜く。 <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑥車両の点検を定期的に行う ⑦アイドリングストップの徹底。 ⑧車両発進時には、ふんわりアクセルを徹底し、エコドライブを心がける。 ⑨現場に行く際の必要機材、持物の確認を徹底する。 ⑩給油時にタイヤの空気圧をチェックし、燃費の向上に努める。 | | | | | | | | |
| <p>目標—2</p> | <p>廃棄物の排出量を、3%削減する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>(平成24年度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">一般廃棄物排出量</td> <td style="padding: 2px;">118 (kg)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">産業廃棄物排出量</td> <td style="padding: 2px;">3,000 (kg)</td> </tr> </table> </div> <div style="margin: 0 20px;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>(平成26年度の目標)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">一般廃棄物排出量</td> <td style="padding: 2px;">114 (kg)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">産業廃棄物排出量</td> <td style="padding: 2px;">2,910 (kg)</td> </tr> </table> </div> </div> | 一般廃棄物排出量 | 118 (kg) | 産業廃棄物排出量 | 3,000 (kg) | 一般廃棄物排出量 | 114 (kg) | 産業廃棄物排出量 | 2,910 (kg) |
| 一般廃棄物排出量 | 118 (kg) | | | | | | | | |
| 産業廃棄物排出量 | 3,000 (kg) | | | | | | | | |
| 一般廃棄物排出量 | 114 (kg) | | | | | | | | |
| 産業廃棄物排出量 | 2,910 (kg) | | | | | | | | |
| <p>具体的な取組</p> | <p>(事務所での取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①一般廃棄物は、決められたごみ箱(可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、カタログ、封筒、廃プラスチック、)に分別してだす。 ②コピー用紙を両面使用する。 ③シュレッダーの使用は、機密書類に限定する。 ④ファイル、フォルダーなどは、繰り返し使用する。 ⑤産業廃棄物は、決められたごみ箱(鉄屑、廃プラスチック、電線、木屑)に分別してだす。 | | | | | | | | |

| | |
|--------|---|
| 目標—3 | 紙の使用量を3%削減する。 |
| | <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平成24年度 12 (kg)</div> <div style="margin: 0 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平成26年度の目標 11 (kg)</div> </div> |
| 具体的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ①電子メディアを利用して、ペーパーレス化を推進する。 ②コピー機の使用の際、設定ミスによる紙の無駄をなくす。 ③社内資料は、すべて使用済みコピー用紙の裏面を利用する。 |

| | |
|--------|---|
| 目標—4 | 水の使用量を3%削減する。 |
| | <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平成24年度 334 (m3)</div> <div style="margin: 0 20px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">平成26年度の目標 323 (m3)</div> </div> |
| 具体的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ①水道の蛇口に節水こまを設置する。 ②水道ホースの先にノズルを取り付ける。 ③雨水を貯水し、植物や事務所まわりの打水に使用する。 |

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって、環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。